

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

日本会計コンサルティング株式会社

②事業者情報

名称：	春日部市立第5保育所	種別：	保育所
代表者氏名：	大脇 直子	定員(利用人数)：	100 名
所在地：	〒344-0011 春日部市藤塚428番地1	TEL	048-735-8471

③評価実施期間

令和 2 年 7 月 16 日 (契約日) ~ 令和 3 年 3 月 17 日 (評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

【保育サービスの充実に向け、職員間できめ細かい情報共有に取り組んでいます】

当保育所では、日々の運営の中で毎日朝礼と昼礼を実施しています。朝礼では、その日の保育内容を職員間で共有しています。昼礼では、午前中にあった変化や保護者からの情報などから共有すべきものがあれば直ぐに共有し、午後の保育に反映しています。また、行政が実施する保護者アンケートの内容を職員全員で共有し、課題については改善方法を話し合い、保育に反映しています。保育の中でのちょっとした気づきや変化などについては、職員間で持ち寄って共有し、保育に活かしています。職員間での情報共有と日々の気づきを保育に活かす流れは、保育サービスの質の向上に寄与しています。

【子どもの成長に必要な心身の五感を刺激し、情操を養うような教育に力を入れています】

当保育所には、自然を日常的に体感できる芝生の所庭があり、四季折々に変化する神社の境内および散策場所が隣接しています。隣接する境内は所庭の続きのようになっており、子どもの遊び場として活用しています。この戸外活動により、子どもが全身で季節を感じることが出来る環境となっています。また、探索活動においては、昆虫や植物などの成長を体験し、自然から四季の変化や豊かな感性を育てています。具体的には、草花の発芽から開花、枯れていく変化やこれらに集まる昆虫の生態などを観察し、体感しています。子どもの五感は自身が体感し、職員が意味づけをすることで心身に取り入れられます。例えば、草花の成長の様子を子どもが観察し、職員が「ここまで成長したね」と伝えることで、体感から心身に取り入れられています。この探索活動での体験を通して、喜怒哀楽のような感情表現が豊かになり、表現能力を培う情操教育を実現しています。

【新型コロナウイルス感染症予防対策に配慮し、子どもの楽しい体験を日常生活と行事開催で補完しています】

新型コロナウイルス感染予防を考慮し、保育や行事の進め方を慎重に検討しています。子どもがどう楽しめるか、保護者に保育内容をどのように伝えるかについても職員間で討議し決定しています。当保育所では、日頃から感染症への配慮をしながら、子どもの成長を促す保育をしています。調査年度時点における新型コロナ禍の中では、特に食事において重点配慮をし、子どもに楽しい日常を提供できるように取り組んでいます。具体的には、手製の飛沫防止シールドを設置することで、平常に近い配置と時間帯を保障し、子どもが食事を楽しむ機会を提供しています。また、行事においては、子どもや保護者の参加人数と開催時間等に制限を設けて行っています。夏祭りでは子どもをグループ分けをした上で、広い所舎を活用した施設内開催としています。運動会では、感染症予防対策に配慮して年齢別に時間帯を分けて実施しています。夏祭りの時も運動会の時も、子ども達は例年と同様に楽しんでいる様子を訪問調査にて伺いました。このように参加人数と開催時間等に制限して行事内容を最小限にしながら、子どもと保護者に楽しんでもらえるように工夫しています。

◇特にコメントを要する点

【子ども達が生活する場の施設設備の改善が望めます】

今回の第三者評価の利用者アンケートに散見された意見が施設設備の古さに関する事柄です。現場における職員の工夫により安全・衛生に配慮した保育サービスを実施していることは、今回の調査で確認出来ました。施設内や所庭における各所で構造を工夫して活かしたり、毎日の清掃活動の徹底により、施設設備の安全性や衛生面を補っています。ただし、施設設備の安全性や衛生面は保育所単独で解決できるものではありません。市との連携が求められます。また、保護者の意見として改善を求める声に対応できないままでは、質の高い保育サービスが展開され難いと推察します。現在も行ってはいますが、施設設備の改善における継続的な市との連携が望めます。

【春日部市内保育所の異動を伴う職員の育成方法の確立を期待します】

当保育所における職員教育は、市のプログラムに加えて所長や主幹の役割分担により、きめ細かい面談等も含め実施しています。年に三回実施する職員面談では、保育スキル面だけでなく、ヒューマンスキル面にも配慮して行っています。今回の第三者評価の職員アンケートでは、個々に受けた研修と実施内容が希望の内容では無いととれる意見を一部確認しました。きめ細かく職員の育成状況を把握して教育を実施している一方で、各職員の過去の研修受講歴や育成課題などを把握できる書式が確認出来ませんでした。公立園においては異動が伴うため、異動前後の職員管理の引継ぎまでは出来ていないからです。今後、職員のより良い育成をしていくためには俯瞰した職員管理も大切です。よって、所長や主幹の配慮による細やかな育成に加えて、研修受講歴や育成課題などが確認できる書式の策定を期待します。

【子どもへの保育内容について、保護者の理解が進むような情報発信の工夫を期待します】

子どもへの支援として、職員の細やかな配慮によって安心安全な保育環境を実現しています。また、新型コロナウイルス感染症予防対策として、衛生管理への対応も実施しています。こういった子どもへの保育内容についての情報発信は、「園だより」・「クラスだより」で行っています。しかし、今回の第三者評価における利用者アンケート調査の記述には、食事への配慮、環境面や衛生面への配慮などをどのようにしているのか等、周知されていないととれる意見が散見されました。今後は「園だより」・「クラスだより」等や送迎時のコミュニケーションを通じて、子どもへの保育内容をさらに丁寧に保護者に伝えたり、具体的なエピソードとともにそれぞれの場面で職員がどう関わったかなどを知ってもらうことが必要です。そして、職員が一丸となって実施しているきめ細やかな保育内容を保護者と共有できるような情報発信の工夫を期待します。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

子ども達の保育所生活が充実したものとなるように、職員間で情報共有し、年齢や一人一人に合わせた保育を実施してきました。また、今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防に努めながら、安全な環境を整え、季節に合わせた様々な経験ができるように工夫しながら行事等に取り組んできました。保護者への情報発信の方法も工夫してきましたが、保育方針・理念をはじめ、保育の取り組み内容、施設改善の進捗状況などを積極的に発信していく必要性に改めて気づくことが出来ました。今後も保育課と連携し、子どもが行きたいと思う、保護者が預けたいと思う、そして職員が働きたいと思う保育所施設の環境整備に取り組んでいきたいと思っております。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり